

通し番号	4480
------	------

分類番号	22・24・11・01
------	-------------

(成果情報名) 短葉鞘化ネギ栽培体系による‘湘南一本’生産の省力化	
[要約] 根深ネギ‘湘南一本’生産において、短葉鞘化ネギ栽培体系では作業時間を慣行栽培体系から53%短縮可能である。栽培期間は約7ヶ月であり、慣行栽培体系から4カ月短縮可能である。	
(実施機関・部名) 神奈川県農業技術センター・経営情報研究部	
連絡先	0463-58-0333

#### [背景・ねらい]

神奈川県露地野菜において根深ネギは主要作物の一つである。しかし、栽培期間に11ヶ月を要するばかりでなく、むきネギとして出荷する場合には収穫調製作業に手間がかかるため、省力化が望まれている。そこで、根深ネギ‘湘南一本’を平床に定植し、全長40cmのサイズで出荷する短葉鞘化ネギ栽培体系により、慣行栽培体系から栽培期間及び作業時間の短縮を図る。

#### [成果の内容・特徴]

- 1 短葉鞘化ネギ栽培体系では、平床定植とするため、定植作業時間が慣行栽培体系より58%短縮できる(表1)。
- 2 短葉鞘化ネギ栽培体系では、追肥、土寄せ、防除回数が慣行栽培体系より少ないため、本圃管理作業時間が慣行栽培体系から40%短縮できる(表1)。
- 3 短葉鞘化ネギ栽培体系では、全長が短く取り扱いやすいサイズであるため、収穫調製作業時間が慣行栽培体系から54%短縮できる(表1)。
- 4 短葉鞘化ネギ栽培体系では、全作業時間が慣行栽培体系から53%短縮できる(表1)。
- 5 短葉鞘化栽培体系における栽培期間は3月下旬から10月中旬であり、慣行栽培体系の11ヶ月から4カ月短縮できる(図1)。

#### [成果の活用面・留意点]

- 1 むきネギとして出荷するため、皮むき機及びコンプレッサーが必要である。
- 2 収穫期間に投入可能な作業時間を考慮して、栽培規模を決定する必要がある。
- 3 栽培終了後作型の組合せに留意する。

[具体的データ]

表1 短葉鞘化ネギ栽培体系及び慣行栽培体系における作業時間<sup>z</sup>

短葉鞘化ネギ栽培体系			慣行栽培体系		
作業名	使用機械・作業方法	作業時間 人・hr・10a <sup>-1</sup>	作業名	使用機械・作業方法	作業時間 人・hr・10a <sup>-1</sup>
定植 <sup>y</sup>	すじつけ 定植位置にすじつけ	0.6	鎮圧 カゴ車で鎮圧		0.7
	すじつけ 定植位置にすじつけ		すじつけ 溝を掘る位置にすじつけ		0.6
	粒剤散布 クロチアニジン粒剤を手散布	0.7	溝掘り 管理機で深さ20cmの溝掘		2.5
	粒剤散布 クロチアニジン粒剤を手散布		粒剤散布 クロチアニジン粒剤を手散布		0.7
	植付け 苗を歩行型簡易移植機で平床に植付け	1.2	植付け 苗を歩行型簡易移植機で溝底に植付け		1.4
小計		2.5	小計		5.9
本圃管理 <sup>x</sup>	追肥 全2回、化成肥料を手散布	1.0	追肥 全5回、化成肥料を手散布		3.0
	土寄せ 三角ホーで土寄せ	3.7	土寄せ 三角ホーで土寄せ		3.6
	土寄せ 管理機で土寄せ	3.6	土寄せ 管理機で土寄せ		3.8
	土寄せ 管理機で土寄せ		土寄せ 管理機で土寄せ		8.3
	止め土 管理機で止め土	3.4	止め土 管理機で止め土		2.5
	防除 全3回、背負い式噴霧機で農薬散布	3.0	防除 全3回、背負い式噴霧機で農薬散布		3.0
	防除 フルアジナム粉剤を手散布	0.7	防除 フルアジナム粉剤を手散布		0.6
	防除 フルアジナム粉剤を手散布		防除 フルアジナム粉剤を手散布		0.6
	防除 全3回、動噴で農薬散布	1.1	防除 全7回、動噴で農薬散布		2.8
	小計		16.5	小計	
収穫調製	畝崩し 堀取機で畝を崩す	3.0	畝崩し 堀取機で畝を崩す		3.2
	抜取り 崩した畝からネギを抜取る	7.8	抜取り 崩した畝からネギを抜取る		13.2
	根切り 根を1本ずつハサミで切断	33.3	根切り 根を1本ずつハサミで切断		54.5
	葉身切断 葉身を100本ずつ包丁で切断	3.5	粗切 葉身を100本ずつ包丁で切断		5.3
	皮むき 長ネギ皮むき機で皮を剥く	41.0	皮むき 長ネギ皮むき機で皮を剥く		121.5
	葉身切断 全長40cmになるよう葉身を50本ずつ包丁で切断	19.3	葉身切断 全長60cmになるよう葉身を50本ずつ包丁で切断		39.2
小計		107.9	小計		236.9
合計		126.9	合計		270.4

z:資材、機械などの準備・運搬・移動時間は除外、y:耕うん、基肥散布など定植準備作業時間は除外、x:追肥、防除作業の肥料や薬液の計測、詰替え時間は除外

耕種概要:は種 平成22年3月23日、定植 平成22年5月10日、畝間90cm、短葉鞘化演技栽培体系は連続紙筒(CP303)に2粒/セルまき、慣行栽培体系は連続紙筒(CP303)に3粒/セルまき

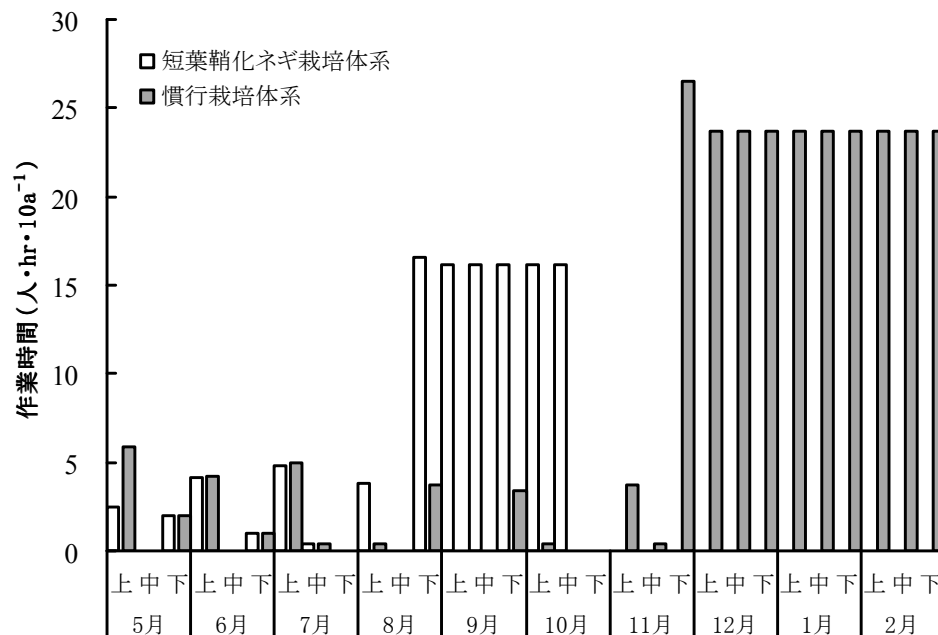


図1 短葉鞘化ネギ栽培体系及び慣行栽培体系における旬別の10aあたりの作業時間

[資料名]平成22年度試験研究成績書(経営情報)

[研究課題名]‘湘南一本’の省力的な栽培方法の開発及び評価

[研究期間]平成20~22年度

[研究者担当名]小泉明嗣・深山陽子